

本紙 一收金二錢 一ヶ月の金五匁
 定価 金四匁 郵報金一ヶ月 一六二錢
 日曜日 大祭日の翌日は休刊(月刊)
 廣告 五種新字の七字號一行一同金
 料金 五十錢 郵報金一ヶ月 一六二錢
 印刷 一松久 神六郎
 發行所 京城新報社
 京都西門小門通(市價六六二)

▲内敏にして外鈍

内教に劣外亦た敏なるは、甚だ宜しきが如きも、内教にして外の鈍なるには如かず、日人の如き佛人の如きは即ち内教にして外亦た敏なるもの多く、不自然の不具を喜ぶに至る、雖ては馬牛鶏鴨其他有ゆる禽獸にも亦た此の傾向を見、遂に以て吾人人類にも及びやらんぞとするか。嘆きて又た嘆はし。

用新案とは物品の形狀構造又

[illegible]

足る例示すれば鉛筆の體ぞ三

相似て非なるもの世間甚だ多きも、大膽と命懸らずの如く相似て非なるものはあらず。世往々武夫の徒らに戦死するを以て武夫の本領となし、武士道は即ち是れ胴腹にあるかの如き念へ、優くものあるは、可笑しくも亦た嘆はし。武士の戦場に向ふや、將之に訓わて曰

一足る例示すれば鉛筆の體三角又以扁平の形として其轉輾し易きを避くる形狀に付きての工夫、或は一丁の小刀を以て小刀螺旋旋じ葉巻切りを賣用せしめたる組合にて工夫の如く、或は洋傘の骨と柄を折疊伸縮して携帶し、或は便せしめたる構造にての工夫又、如き便て創意的工夫なしと雖も實用

味美觀を添ふるを目的とし、實用新案の如く實用利便

すと思ふの迷惑。教ゆべからずと雖ども、亦た憐れならずや、今吾れ武夫の爲めに言はんに、成るべく命を愛しめ命を愛んで戰に從へ、退べきにも進み、死に於するは匹夫の事のみ、生還再舉を圖るは、智にして勇あるもの、所爲、命を愛しむものにあらざんばと、菊花御紋章と梨花御紋章とを受くることを得ず

用ひられたる考案と同一

焼めて片輪にしてし、曲めて不具になし
或は之を半粒にしてし、或は之を糠のこ
し、粥や赤にして焼く使せられて、愈々
不具にして愈々實せられて、自然に遠く
くること益々深きは、是れ徭税に於て
得ること益々深きは、是れ徭税に於て

出典 考案
用ひられたる考案は同一又は類
の考案

考案者は勿論其の相續人又は考案
譲受けたるものは登録を受くることとす
得(六元)

瓦斯會社の近況

人の瓦斯を供給しつゝあり一

而して、此の狎狗も亦た不具の甚だし
尺の瓦斯を供給しつゝあり一時其筋

選者 九阜館

何者にては隨意 用紙用筆類も又從
隨意の事、締切期限十二月二十日、
發表は四十三年一月元旦の本紙上を
以てす、同好の士奮て投稿せられん
ことを希ふ
十一月廿日
本社編輯局

慶北の畜産

慶北の畜牛

(於品評會東野技手談)

大邱農産品評會に出品せる畜牛を見

てふことに付少し意見

開陳せん牛の改良てふ事が國家經

済上直接の關係を有する所以は牛は農

に使用され農盛んれば從て善良な

牛の必要を生ず畜牛と良の必要を感

あるべし此上数の増加を以

あるべし此上數の増加を以てて黄牛を生ずる利益金の増加を見ん事能くすべし故に畜産家は牛の品質を改良し黄牛より生ずる利益を收めんとす實當然の論なりと云ふその方法として母牛の改良に外ならず從來朝鮮、南洋に賣買交換最も頻繁と極の一人一

改良を實施すべき也、今回

第二十七席

若様に少々御願ひがござります。まゝ

若様は少々御願ひがござります。何に、拙者の迷惑ならんことな
ム、何に、拙者の迷惑ならんことな
何なりと聽いど道はす。甚外でな
いせせんが、三年前に本家の三右衛門
云ふものに一人の娘がございます。
が、今日婿を取りますので村中の者
災ひの縁の手に傳ひを致し居りまし

て往くと云ふので一同が青くなつて



馬場社
一冊五
同金
六銭
洋
刊

良種牛
相け畜生
祭尊人は
を置かす
行きつ

御出でになり、爲「ナニ」心配するな高が、
姫の五十人や百人來たつて何のこと
があるものか」と少せしも驚かるし機
子がない、追々と蝶螺貝の音が近かく
なるかと思ふ間もなく、「ヤイッ」ツツ
入来る姿だ、角造と云ふ親分は眞生
に立つて「ヤイノ、百餘共、娘は何處
へ往つた、何處へ往つた早く娘を出れ
若し逃隠すれば時は此村中を火を焚
けて焼いてしまふぞ」と大罵する。べ
朝は背後になると四十恰好のデブツ
肥った背の高い立派な体格だけれど、
人相は平つて悪い娘、婿は奥の座敷
へ還入つてブル／＼顧へて居る、角

實證力

實證力

業所を當地南山町三丁目(巴城

業所を當地南山町三丁目(巴城



廣江商會

內兒科
小兒病
梅毒淋病
院長陸軍軍醫正高井貞治
電話(二一六)
高井醫院
京城番町三丁目

●牛乳
消殺
檢査
濟毒

◇
韓國畜産株式會社

前大月外(龍活八風雲)

南山町二丁目
松岡醫院

館主 土御門派大陰陽師
相易 京脂 整推 仙傳
放斯 城素 推推 仙傳
授觀 本輕 素推 仙傳
二二 町重 面推 仙傳
一丁 五翟 也微 仙傳
目 也微 也微 仙傳
館 洋 洋 仙傳
意 意 意 仙傳

は上原將軍に必ず葦原將軍に見ゆる
相違なきを

二十

斷と△九案 爭論中絶衝突を戒しむ相談佐
頼請願等効なし断ね沈衰の日なり

柳業

根炭 堅炭
京薪 松炭 石炭 炭炭
直見商店
電話二〇四番

根炭 堅炭
京薪 松炭 石炭 炭炭
眞下大商店
電話二〇四番

島崎鐵工場
龍山元町二丁目
電話四四四番

歐米新式 田口洋服店
龍山元町二丁目
電話二二二番

龍山醫院
院長 藤澤博士 長尾乙二
龍山元町二丁目
電話二二二番

製繩高一萬尺
谷本清兵衛商店
電話七六五番

梅毒患者の福音
梅毒科 戸田病院
電話九三三番

銀牌受領の祝として
T.M.式製繩機一號機
金二十五圓 金一圓要す

大營養新藥
人體の肥料
牛乳の濃倍
貴州は全國各藥店にあり

足袋
本店東京
藤井出張店
電話二〇五番

防寒用靴製造
ボツクス力一製長靴金十二圓
一枚皮深ゴム金六圓
同 中深ゴム金五圓
本町二丁目
電話九百十九番

龍山醫院
院長 藤澤博士 長尾乙二
龍山元町二丁目
電話二二二番

米東京火災海上保險株式會社
明治廿七年七月創立
資本金一千萬圓 事務所 龍山元町二丁目
電話二二二番

眼科專門
江頭眼科醫院
電話三三三番

待合
衛生と消毒

滋養と牛乳
純良牛乳
岡野牧場
電話二〇六番

待合
表具 松月堂
電話二〇三番

大上商店
醬味漬物製造元
京本町五丁目
電話二五一番

大上商店
醬味漬物製造元
京本町五丁目
電話二五一番

領受牌賞等二
式一具道禮婚御
固堅造荷價廉實確
呈進錄目業營
目丁一町馬傳小區橋本日京東
店筒筆喜勢伊

暖爐各種
煙突取付並二煙突掃除大勉強
電話四七一番
電話三六四番
馬木支店 馬木支店

日本郵船株式會社
貨物及旅客取扱店
電話三三三番

日本郵船株式會社
貨物及旅客取扱店
電話三三三番

資本金五百萬圓
為替取組先
安田善三郎

銀行一般業務
積立及繰越金 九拾萬圓
株式十八銀行支店
電話四二〇番

濯石鹼
造專門製用
陸軍、鐵道、船舶、礦
道、山、水道、工業
散髪、諸工、業用
(電話九七三番)

朝白石鹼製造所